

Kanelite Tatami

# カネライト畳<sup>®</sup>フォーム



kaneka



# 省エネに貢献する断熱性能 伝統に新機能が加わって さらに心地よいやすらぎを…。

“畳”、そのやわらかい肌触りと温かい質感は、  
古来から多くの人々に愛され、  
建築様式が進化していく中でも  
日本古来伝統の床材として広く愛用されています。  
より快適な住まいを創るために、  
断熱性・保温性・防湿性に優れた  
カネライトフォームまたはカネライト畳フォームを芯材に使用した、  
環境にやさしい各種カネライト畳をご提案します。

**カネライトフォーム**は建材トップランナー制度対象製品(区分名:押出法ポリスチレンフォーム断熱材)です

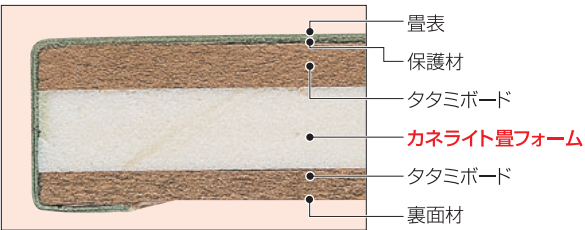
建材トップランナー制度とは

経済産業省 資源エネルギー庁が、製品の性能をさらに向上させるように目標値を設定し、その達成を求める制度です。

断熱材では、押出法ポリスチレンフォーム断熱材、グラスウール断熱材、ロックウール断熱材、硬質ウレタンフォーム断熱材の4種類が対象となっています。押出法ポリスチレンフォーム断熱材の2030年度目標基準値は、熱伝導率0.03036[W/(m・K)]と定められています。

## タタミボードタイプ (KB-Ⅲ形)

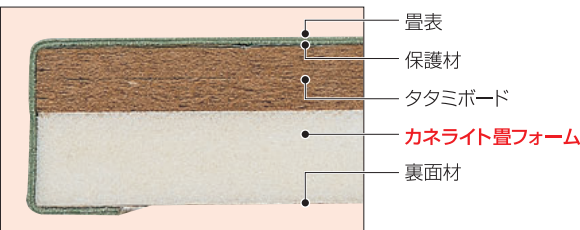
JIS A 5914 KT-Ⅲ 断熱建材畳床



|              |                  |
|--------------|------------------|
| 畳仕上げ厚さ       | 45・50・55・60      |
| カネライト畳フォーム厚さ | 20・25・30・35 (mm) |

## タタミボードタイプ (KB-Ⅱ形)

JIS A 5914 KT-Ⅱ 断熱建材畳床



|              |                         |
|--------------|-------------------------|
| 畳仕上げ厚さ       | 35・40・45・50・55・60       |
| カネライト畳フォーム厚さ | 20・25・30・35*・40・45 (mm) |

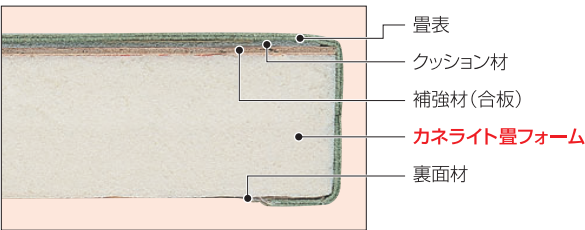
※は販売地域限定商品です。

### 稲わらサンドタイプとオールフォームタイプの長所を組み合わせた断熱建材畳床です

天然稲わらの代わりに、工業製品である「木質繊維板(タタミボード)」を使用した普及タイプ畳床。  
稲わらサンドタイプの持っている機能を保持しつつ、タタミボードとカネライト畳フォームを組み合わせることで2層タイプ、3層タイプと選択が可能。戸建・集合住宅、旅館・飲食店等の様々な条件にお応えできる建材畳床。

## オールフォームタイプ (AF-V)

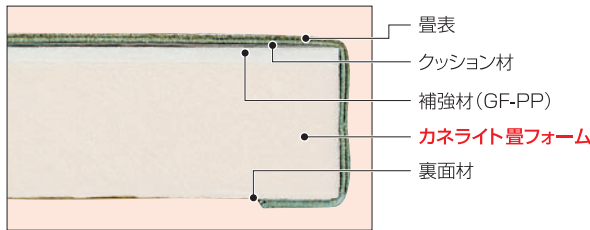
JIS A 5914 KT-K,N 断熱建材畳床



|              |                        |
|--------------|------------------------|
| 畳仕上げ厚さ       | 35・40・45・50・55・60      |
| カネライト畳フォーム厚さ | 25・30・35・40・45・50 (mm) |

## オールフォームタイプ (AF-GF)

JIS A 5914 KT-K,N 断熱建材畳床

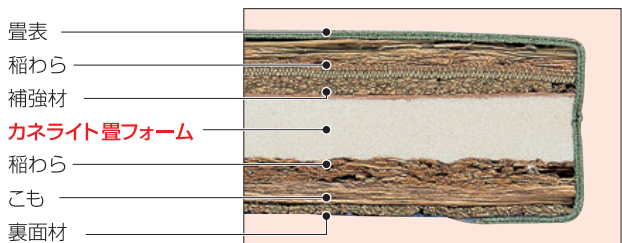


|              |                        |
|--------------|------------------------|
| 畳仕上げ厚さ       | 35・40・45・50・55・60      |
| カネライト畳フォーム厚さ | 25・30・35・40・45・50 (mm) |

“畳の形をした断熱材”といえるほど、  
カネライト畳フォームの使用量を最大にし、断熱性能を高めた断熱建材畳床です

## 稲わらサンドタイプ (WS)

JIS A 5901 PS ポリスチレンフォームサンドイッチ稲わら畳床



|              |               |
|--------------|---------------|
| 畳仕上げ厚さ       | 55・60         |
| カネライト畳フォーム厚さ | 20・25・30 (mm) |

稲わらを使用し、伝統的な風合いを残した懐かしい  
感触の畳床です

昔からの「わら畳」が保持している踏み心地、座り心地等の感触に拘るユーザー向け。天然稲わら層が持つ「調湿機能」「緩衝性能」に、カネライト畳フォームの「断熱性能」を併せ持つ畳床。

- ・ 畳表及び畳縁の種類や有り無しの仕様、価格などは畳店とご相談ください。
- ・ 弊社はカネライト畳の芯材であるカネライトフォーム・カネライト畳フォームを製造・販売しております。
- ・ カネライト畳は、カネライトフォーム・カネライト畳フォームを芯材として使用したJIS A 5901あるいはJIS A 5914の規格を満足する畳床から製造される畳の総称です。

### ■カネライト畳の標準仕上げサイズ(mm)

| 呼 称        | 長さ    | 幅   | 厚 さ   |
|------------|-------|-----|-------|
| 本 間(京 間)   | 1,910 | 955 | 55・60 |
| 六一間(中・四国間) | 1,850 | 925 |       |
| 三六間(中京間)   | 1,820 | 910 |       |
| 五八間(江戸間)   | 1,760 | 880 |       |
| 五六間(団地間)   | 1,700 | 850 |       |



# カネライト畳フォーム

## ■ 特 長

### ■優れた断熱性能です

独立した小さな気泡の中に気体を閉じ込めることにより、熱伝導の三要素として知られる「伝導・輻射・対流」を抑えています。気体を閉じ込めた独立した気泡が熱をさえぎり、結露を抑制します。

### ■吸水・吸湿性がほとんどありません

独立した気泡が断熱の大敵である水を入りにくくし、断熱性能の劣化を防いでいます。

### ■人と地球にやさしく

フロン及びPRT法対象物質の発泡剤としての使用を取りやめました。また、ホルムアルデヒドも含まれておりません。マテリアルリサイクルも可能で、グリーン購入法にも適合しています。

カネライト畳フォーム (KTA) は、  
畳床用に性能改良した  
畳用途専用フォームです。



### ■標準物性表

| JIS A 9511 記号 |                           | XPS2bA               | 試 験 法                |
|---------------|---------------------------|----------------------|----------------------|
| JIS A 9521 記号 |                           |                      |                      |
| 項 目           | 単 位                       | KTA                  |                      |
| 密 度           | kg/m <sup>3</sup>         | 27以上 <sup>(※1)</sup> | JIS A 9521           |
| 熱 伝 導 率       | W/(m・K)                   | 0.034以下              | JIS A 9521           |
| 圧 縮 強 さ       | N/cm <sup>2</sup>         | 20以上                 | JIS A 9521           |
| 曲 げ 強 さ       | N/cm <sup>2</sup>         | 20以上                 | JIS A 9521           |
| 吸 水 量         | g/100cm <sup>2</sup>      | 0.01以下               | JIS A 9521           |
| 透 湿 係 数       | ng/(m <sup>2</sup> ・s・Pa) | 145以下                | JIS A 9521 (厚さ：25mm) |
| 燃 焼 性         | －                         | 合 格                  | JIS A 9521           |
| ホルムアルデヒド放散区分  | 等 級                       | F☆☆☆☆                | JIS A 9521           |
| 線 膨 張 率       | cm/cm℃                    | 6～8×10 <sup>-5</sup> | ASTM D696            |
| 加熱変形温度        | ℃                         | 80(短期)/70(長期)        | カネカ法                 |

・燃焼性の規格は「3秒以内に炎が消えて、残じんがなく、かつ燃焼限界指示線を超えて燃焼しない」ことです。  
・線膨張率はASTM法、加熱変形温度はカネカ法による測定の実値であり、保証値ではありません。  
・弊社はカネライト畳の芯材であるカネライト畳フォームを製造・販売しております。  
・高性能(熱伝導率0.028W/(m·K))品についてはお問い合わせください。  
※1: JIS A 5914断熱建材畳床の規格

### ■耐薬品性表

| 薬 品 名             | 状 態 |
|-------------------|-----|
| 塩 水               | ○   |
| 強酸 (濃硝酸を除く)       | ○   |
| 弱 酸               | ○   |
| ア ル カ リ           | ○   |
| ア ル コ ー ル         | ○   |
| 植 物 油             | ○   |
| 動 物 油             | ○   |
| 鉱 油               | ×   |
| ガ ソ リ ン           | ×   |
| ケ ト ン             | ×   |
| 芳香族類 (ベンゼン、トルエン等) | ×   |
| 塩 素 化 炭 化 水 素     | ×   |
| エ ス テ ル           | ×   |

○:安定 ×:溶解または膨潤  
薬品に室温で24時間浸漬後、試験片の  
状態を観察し判定。

### ■カネライトフォームは下記の規格に適合した工場で 管理・生産されています。

| 工場名         | JIS          | ISO 9001                       | ISO 14001   | エコアクション21 |
|-------------|--------------|--------------------------------|-------------|-----------|
| (株)カネカ大阪工場  | TC 05 08 016 | JCQA-0673<br>(JIS Q 9001:2015) | JCQA-E-0053 | —         |
| (株)カネカ鹿島工場  | TC 03 07 450 |                                | JCQA-E-0054 |           |
| 北海道カネライト(株) | TC 01 07 029 |                                | —           | 0001905   |
| 九州カネライト(株)  | TC 08 07 057 |                                |             | 0001673   |

エコアクション21は環境省が策定したガイドラインに基づく環境マネジメントシステムです。

### ■改正建築基準法への対応について

押出法ポリスチレンフォーム断熱材である当社製品「カネライトフォーム」「カネライト畳フォーム」は、  
①原料中にクロルビリスを一切使用してありません。  
②ホルムアルデヒド発散建築材料ではありません。  
(ホルムアルデヒド発散建築材料を定める国土交通省告示第1113号~1115号に押出法ポリスチレンフォーム断熱材は該当しません。)

発効日: 2023年6月2日

**JIS** Certification for Japanese Industrial Standards  
**日本産業規格適合性認証書**

株式会社カネカ 大阪工場 殿

産業標準化法第30条第1項に基づき、下記のとおり  
当該日本産業規格への適合を認証いたします。

記

認 証 番 号: TC0508016

認証取得者の氏名及び名事: 株式会社カネカ 大阪工場  
住 所: 大阪府摂津市島飼西 5-1-1

鑑 工 業 品 の 名 称: 発泡プラスチック保温材、建築用断熱材

認証に係る JIS 番号: JIS A 9511, JIS A 9521

認 証 の 区 分: 押出法ポリスチレンフォーム保温材  
押出法ポリスチレンフォーム断熱材

工場及び事業所の名称: 株式会社カネカ 大阪工場  
所 在 地: 大阪府摂津市島飼西 5-1-1

「認証の範囲」、「認証マーク等の表示」、「付記事項の表示」及び「表示の方法」については  
日本産業規格適合性認証書附属書による。

認 証 契 約 日: 2008年6月2日  
有 効 期 限: 2026年6月1日

**JTC** 一般財団法人 建材試験センター  
Japan Testing Center for Construction Materials  
東京都中央区日本橋堀留町1丁目10番15号  
理事長 渡辺 宏

Annex to Certification for Japanese Industrial Standards  
**日本産業規格適合性認証書附属書**

(認証番号: TC0508016)

認証の範囲(種類又は等級):

| 区分                                 | 種類                                                                              |
|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| JIS A 9511<br>押出法ポリスチレン<br>フォーム保温材 | 保温板<br>XPS1bC, XPS2bA, XPS3aA,<br>XPS3aA, XPS3bC                                |
|                                    | ホルムアルデヒド<br>放散による区分<br>F☆☆☆☆                                                    |
| JIS A 9521<br>押出法ポリスチレン<br>フォーム断熱材 | 新法又はスキャン<br>による区分<br>N X                                                        |
|                                    | 記号<br>XPS1bC, XPS2bA, XPS3aA,<br>XPS3aA, XPS3bC<br>ホルムアルデヒド<br>放散による区分<br>F☆☆☆☆ |

認証マーク等の表示:

- 1) 認証マークは、単色且直径 10mm 以上の大きさで表示する。
- 2) 認証マーク近傍に、一般財団法人 建材試験センターの略称及び認証番号と  
して、「TC0508016」を表示する。
- 3) 日本産業規格の番号及び種類又は記号を表示する。

付記事項の表示: 鑑工業品等には次の事項を表示する。

適合する JIS で定める表示事項

- ・認証取得者(製造業者)の名称又は略号
- ・製造工場名又は略号
- ・製造年月又は略号
- ・その他、必要な事項

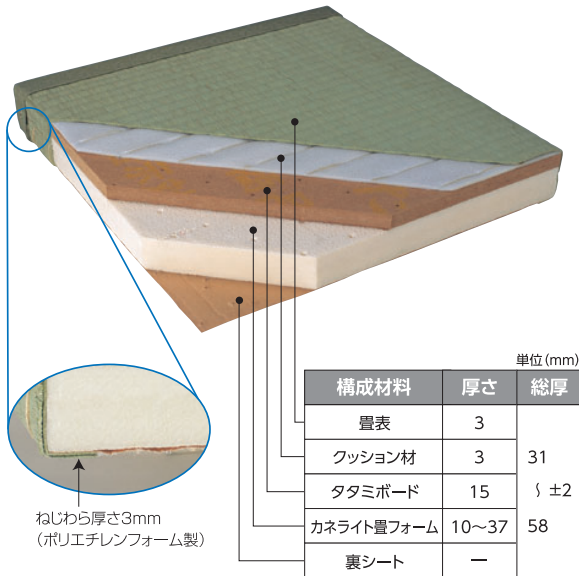
「グリーン購入に適合している表示」、「燃焼性に関する表示」。

表示の方法:

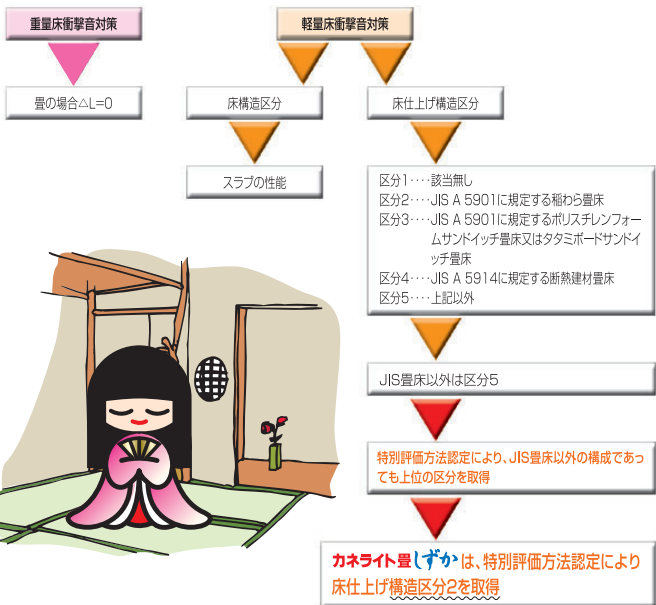
- 1) 認証マーク等は、1 製品ごと、又は 1 包装ごとに押印、又は吹き付け印刷する。
- 2) 容易に消えない方法による。

一般財団法人 建材試験センター  
上級経営管理者  
丸山 慶一郎

## ■カネライト畳しずか (床仕上げ構造区分2)仕様概略



## ■品確法における畳の音環境に関する性能表示制度概要



## ○軽畳床衝撃音対策等級

| 等級   | LL    | 床構造区分 及び 床仕上げ構造区分 |                 |               |              |
|------|-------|-------------------|-----------------|---------------|--------------|
|      |       | 床構造区分 1           | 床構造区分 2         | 床構造区分 3       | その他          |
| 等級 5 | 45 相当 | 床仕上げ構造区分1又は2      | 床仕上げ構造区分1       | —             | —            |
| 等級 4 | 50 相当 | 床仕上げ構造区分1,2,3     | 床仕上げ構造区分1又は2    | 床仕上げ構造区分1     | —            |
| 等級 3 | 55 相当 | 床仕上げ構造区分1,2,3,4   | 床仕上げ構造区分1,2,3   | 床仕上げ構造区分1又は2  | 床仕上げ構造区分1    |
| 等級 2 | 60 相当 | 床仕上げ構造区分1,2,3,4,5 | 床仕上げ構造区分1,2,3,4 | 床仕上げ構造区分1,2,3 | 床仕上げ構造区分1又は2 |
| 等級 1 | 60 以下 | それ以外              |                 |               |              |

床構造区分 1…スラブ厚さ230mm以上  
床構造区分 2…スラブ厚さ170mm以上  
床構造区分 3…スラブ厚さ130mm以上

床仕上げ構造区分 1…従来のLL-40レベル  
床仕上げ構造区分 2…従来のLL-45レベル  
床仕上げ構造区分 3…従来のLL-50レベル  
床仕上げ構造区分 4…従来のLL-55レベル  
床仕上げ構造区分 5…従来のLL-60レベル

## ■試験証明書

GBRC品特-03-82-004

試験証明書

鐘淵化学工業株式会社  
代表取締役社長 武田 正利 殿

平成 15 年 8 月 11 日付で、試験申請のあった以下の特別評価方法は、住宅の品質確保の促進等に関する法律第 53 条第 4 項の規定に基づき、平成 12 年建設省住宅生発第 86 号により建設大臣が認可した当該団体の試験業務規程によって試験を行った結果、該当する評価方法基準に代わる方法であることを証明します。

平成 15 年 10 月 23 日

財団法人 日本建築総合試験所  
理事長 森田 一朗

1. 試験をした特別評価方法の名称  
畳を直接床構造の上に設ける床仕上げ構造に応じて評価する方法

2. 試験をした特別評価方法を用いて評価されるべき性能表示事項  
8-2 軽畳床衝撃音対策

3. 試験の区分  
特別の構造方法

4. 試験をした特別評価方法により代えられる評価方法基準の部分  
①評価方法基準 (平成 13 年国土交通省告示第 1347 号 (最終改正: 平成 15 年 4 月 30 日))  
第 5 の 8-2 ①イ④  
②評価方法基準 (平成 13 年国土交通省告示第 1347 号 (最終改正: 平成 15 年 4 月 30 日))  
第 5 の 8-2 ①ロ②

5. 特別評価方法の内容  
①評価方法基準 第 5 の 8-2 ①イ④については、次に掲げる構造方法の床仕上げ構造にあっては「**床仕上げ構造区分2であるものとする。**」  
②評価方法基準 第 5 の 8-2 ①ロ②については、次に掲げる構造方法の床仕上げ構造であること。

- 1 -

## ■特別評価方法認定書

特別評価方法認定書

国 住 生 第 244 号  
平成 15 年 12 月 24 日

鐘淵化学工業株式会社  
代表取締役社長 武田 正利 様

国土交通大臣 石原 伸晃

下記の特別評価方法については、住宅の品質確保の促進等に関する法律第 52 条第 1 項の規定に基づき、日本住宅性能表示基準に従って表示すべき性能に関し、評価方法基準に従った方法に代わるものであることを認定する。

記

1. 認定番号  
437

2. 認定をした特別評価方法の名称  
畳を直接床構造の上に設ける床仕上げ構造に応じて評価する方法

3. 認定をした特別評価方法を用いて評価されるべき性能表示事項  
8-2 軽畳床衝撃音対策

4. 備考  
当該認定の内容は、法第 53 条第 4 項に規定する証明書 (GBRC品特-03-82-004) のとおりとする。

以上

# 《カネライトフォーム®・カネライト畳®フォーム》 取扱上の注意事項

## ■火気注意

火気に接触すると燃えます。燃えると黒煙を発生します。また、発泡剤として可燃性ガスを使用しています。発泡剤は発泡成形後も製品内に一部残留し、徐々に逸散しますが、発泡剤は空気よりも重く、溝やピットなど掘り下げたところや閉鎖的な空間に滞留しやすい性質を持っています。発泡剤の濃度が爆発下限界を超えた状態で火源に接した場合、燃焼や爆発を起こす可能性が高くなります。従って輸送・保管・施工に際しては、火気と換気に十分注意してください。特に付近で溶接、溶断といった火気を使用する際は、火花等があたらないよう確実に養生するとともに適切に換気してください。

## ■紫外線注意

直射日光に長時間(2~3日以上)さらすと徐々に表面から変色・劣化し、接着不良、厚さ減少等の原因になりますので、保管にあたっては養生シートで覆い施工後は仕上げを速やかに行ってください。

## ■有機溶剤注意

アルコール系以外の有機溶剤・石油類には侵されますので、使用接着剤・塗料の選択又、木造住宅の防腐・防蟻薬剤の選定及び、使用方法についても事前にそれらのメーカーにお問い合わせください。溶剤を使って作業する場合は十分換気し、火気を使用しないでください。

## ■割れ踏み抜き注意

局部荷重や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地の無い箇所には乗らないでください。根太やたる木の上を歩いてください。

## ■高温注意

使用温度は70℃以下です。70℃を超えると徐々に変形し始めますので、高温での使用はさけてください。黒色系フォームは、吸熱しやすい性質がありますので、屋外での保管は遮光性のあるシート等で覆ってください。尚、透明のシートは内部が高温になりやすいので、使用しないでください。

## ■強風注意

軽量で取扱いが容易な反面、風にあおられやすいので強風下での作業は、行わないでください。また、保管にあたっては上に重りをのせるかロープ掛け等で、飛散防止措置をしてください。

## ■その他の注意

1. 切削等でフォーム屑が発生する取扱いを行う場合には集塵設備を設けるか、防護マスク等の保護具を着用してください。
2. フォーム屑が目に入った場合はこすらないで流水で洗浄してください。
3. 熱線スライス等煙の発生する作業をする場合は、換気を十分行ってください。
4. 廃棄の際には、条例に従って処理してください。燃やすと黒煙(スス)がでますのでご注意ください。
5. 鳥・ねずみ・昆虫等によって損傷を受けることがありますが、栄養源や、餌にはなりません。

注意事項に関しては、一般的取扱いを対象としたものです。  
**カネライト畳®フォーム**は主として断熱材として使われることを想定しています。それ以外の使用については、お問い合わせください。

・ カネライト畳、カネライト畳しずか、しすか、カネライトフォームは株式会社カネカの登録商標です。

### 製造

株式会社 **カネカ**

Foam & Residential Techs Solutions Vehicle

東京本社 〒107-6028 東京都港区赤坂1-12-32(アーク森ビル)

### 販売

(問い合わせ先)

**カネカケンテック株式会社**

営業本部 住環境営業部

|              |           |                     |                  |
|--------------|-----------|---------------------|------------------|
| ● 北海道営業課     | 〒060-0002 | 北海道札幌市中央区北2条西3-1-20 | TEL.011(222)5231 |
| ● 東北営業課      | 〒980-0811 | 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1   | TEL.022(722)2901 |
| ● 新潟営業課      | 〒950-0087 | 新潟県新潟市中央区東大通2-3-28  | TEL.025(248)3860 |
| ● 東日本営業課     | 〒112-0004 | 東京都文京区後楽1-1-7       | TEL.03(6370)2370 |
| ● 名古屋営業課     | 〒461-0008 | 愛知県名古屋市東区武平町5-1     | TEL.052(959)3251 |
| ● 西日本営業課     | 〒541-0045 | 大阪府大阪市中央区道修町4-4-10  | TEL.06(6205)3621 |
| ● 九州営業課      | 〒812-0006 | 福岡県福岡市博多区上牟田1-9-17  | TEL.092(778)1001 |
| ● ソリューション営業課 | 〒112-0004 | 東京都文京区後楽1-1-7       | TEL.03(6370)2372 |

